

≡明星【白川小だより】≡

学校HPへ
QRコードで
検索を！！



令和2年9月10日発行

第 28 号

文責：三谷



『であい、ふれあい、そして未来へ』～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

＜秋の収穫(稲刈り)は自粛＞←9月8日(木)

9月に入り連続して台風が九州西側の海上を通過していきました。朝夕は少しずつではありますが、秋の気配も感じられるようになってきました。しかし、日中はまだまだ気温が高く、すっきりしない天候が続いています。全校での活動に制約がある中、今年も稲刈りは残念でしたが、熱中症と感染症予防のため自粛の判断をしました。実習田でお世話になっている浅野 正さんに刈り取っていただきました。学校へもち米2俵をいただきました。浅野さんにはたいへんお世話になりました。ありがとうございました。来年は全員で田植え・刈り取りができることを願っています。

＜なかよし班活動＞←9月9日(水)、10日(木)

児童会活動も三密に配慮しながら、なかよし班で活動をしています。9日(水)は1・2班で、10日(木)は3・4班でそれぞれ業間に6年生が司会をして短い時間ではありましたがハンカチ落としをして交流しました。



＜そばが成長しています＞

8月19日(水) 猛暑の中、地域の方と種まきをしたそばが、約3週間という時間が経過し畑一面に赤紫の茎が15～20cm程に成長しています。秋が深まるにつれて花が咲き、結実して収穫となります。天候に大きな変化なく順調に成長してたくさんの実をつけてもらいたいです。



<ミニ新聞づくりを学びました>←9月4日（金）

本年度も図書館活用アドバイザーとして川口恭子先生に来ていただき、子どもたちに図書館の利用方法や読書の有効性（読書をすることで、自分の知識を深めることができることや、物事に対する見識を広めることができます。）、読書感想文の書き方等を教えていただいています。今日は、「ミニ切り抜き新聞」ということで、新聞の1つの記事を使ってのミニ新聞づくりについて学年別に教えていただきました。子どもたちは、休み時間に自分の興味のあるジャンルの本を図書館や校長室前（校長室前のテーマは食べ物）で読んだり、借りたりしています。ただ、学年によって読む冊数に差があることは残念です。たくさん本を読んで物事に対する見識や視野を広めてほしいと思います。



<日没時間が徐々に早くなります→交通安全(徒歩・自転車)に注意を！！>

朝夕は少し気温が下がってきました。これからは秋めいて、日が落ちる時間も早くなってきます。歩行者や運転者にとって、薄暮時間帯は周囲の視界が徐々に悪くなり、自動車や自転車、歩行者などの発見がお互いに遅れたり、距離や速度が分かりにくくなったりします。そのため、歩行者や運転者からお互いが見にくく交通事故の発生が多いと言われています。歩行者や自転車利用者は明るい服装にしたり反射材・ライトを活用し、自分の存在を周囲に知らせることが大切です。ご家庭においても、登下校の歩き方や自転車の乗り方について確認していただき言葉がけをお願いします。



※薄暮時間帯は日没時刻の前後1時間を表します。

=白川小コラム=

「未見の我」（みけんのわれ）という言葉があります。

この言葉の意味は、未だ見たことのなかった自分、今まで気づかなかった新しい自分」のことを指すのだそうです。人は、自分のことは十分自分でわかっていると思いがちですが、自分では気づいていない可能性がたくさんあり、新しい自分を見つけることこそ一番の「学び」なのだそうです。

今までの生活を振り返ってみた時、年齢を問わず誰ももうまうまういかなかったことや自信をなくしたことがあるものです。我々大人は今までの人生の中でうまくいかない中でも、あきらめずに努力を続けたり、別の方法で取り組んだりすることで新しい成果や少なからず「未見の我」に出会ってきました。子どもたちは学習や遊びを通じて行う振り返りと試行錯誤のスパンが大人に比べ短いので、大人の創造をはるかに超えて、短期間に大きく成長することがあります。定期的な振り返りはこれからの自分を更に伸ばすきっかけです。2学期の教科学習や体験学習、児童会活動を通して、子どもが自分自身の可能性を信じ、まだ見ぬ自分発見の時間にあててみることも成長には大切だと思います。

